

代に親しまれて
インアーチ。織
ヒタまつりとい
この歴史を重ん
、市が目指す将
ヤラクターで訴
い」と説明し

子どもにも簡単
どシンプルなデ
鮮やかさも目を
評価した。

ん」の愛称はデ
もとに選定委員
候補の中から
「イーたん」に
たものの、栃木
をPRするキャ
使われているこ
急ぎよ差し替え
いう。

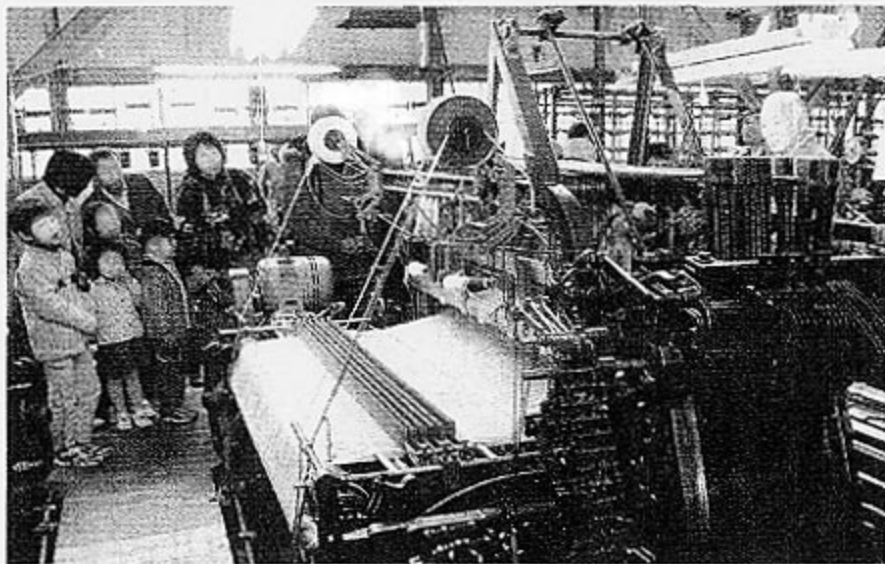
フリーマーケット
イベントも多彩。
場は市平和支所
中学校など。●平
商工会＝電056
46)0031
(小蔵裕)

口告示

口討論会

定者の公開討論会
一日午後一時半か

世界を相手に 機は闘う



古くからある織機を見学するいちのみや大学講座の
参加者ら—一宮市木曾川町玉ノ井の葛利毛織工業で

一宮市の有志による市民向
け生涯学習講座「いちのみや
大学」は三十一日、同市木曾
川町玉ノ井の葛利毛織工業で
見学講座を開いた。三十人の
参加者はのこぎり屋根の工場
で操業を続ける現役の機屋を
通じ、織維の街の技術と伝統
に触れた。

いちのみや大学 大 毛織り工場見学

ヘル織機」と呼ばれる低速機
八台が「バタン、バタン」と
独特の音を立てていた。
葛谷幸男社長(モミは「安い、
早い」がもてはやされる時代だ
が、世界に通じる生地を後世
に残す、という使命感でやっ
ている」と熱弁を振るった。
知立市から参加の都築一さ
ん(モミは「昔の小学校のよう
な建物で懐かしい」と目を細
め、説明に聞き入った。

(谷悠仁)